Actions

アクションズ

若手医師活動報告

第８回日本在宅医療連合学会大会の実行委員長を拝命して

巡る診療所　院長
飯田（いいだ）　智哉（ともや）

2010年札幌医大卒業、2019年札幌医大大学院修了。元消化器内科医で現在は「何でも屋在宅医」。まともな在宅医療を目指して日々在宅医療に励みつつ、在宅医療の普及啓発を目的に様々な役職を担っている。在宅医療専門医・指導医、緩和医療専門医・指導医、総合内科専門医、消化器病専門医・指導医。

学会や研究会は増えるばかりで、毎週末のように全国各地で地方会や全国大会が開催されています。私も複数の学会に所属していますが、毎年支払う年会費だけでいくらになるのか、なるべく考えないようにしています。

ただ、医師それぞれに、「自分のメイン学会」があるのではないでしょうか。私は2010年に医師となり、ひょんなことから2020年より在宅医療を学んでいます。2024年11月には札幌市手稲区に訪問診療・緩和ケア専門の「巡る診療所」を開設し、職員５名とともに、24時間365日体制で地域の在宅医療の一端を担っています。

そんな私の「今のメイン学会」は日本在宅医療連合学会です。日本在宅医療連合学会の活動は、学術集会や講演会の開催、学会誌の発行、研究及び調査の実施、専門医の育成など多岐にわたっており、学会員数は約4,900人で、全国９支部から構成されています。

全国大会は年１回開催されており、2025年の第７回日本在宅医療連合学会大会は長崎で行われ、約3,700余名の方々が参加しました。私も所属する次世代委員会主催の企画の座長をしたり、在宅医療の広報・啓発に関わるシンポジウムに登壇させていただいたりと（**図１**）、新たな学びを得るとともに、全国の在宅医療関係者との親睦を深めることができました。

そして、来る2026年の第８回大会は、大変嬉しいことに札幌での開催が決まっています（**図２**）。大会長は医療法人財団老蘇会静明館診療所の大友宣先生で、既に実行委員会が組織され、着々と準備が進められています。私は光栄にも実行委員長を拝命しており、地元北海道での第８回大会に一人でも多くの方が参加し、有意義な時間を過ごしてもらえるよう、大友大会長をはじめ実行委員の方々と日々作戦を練っています。

第８回日本在宅医療連合学会大会のテーマは、「在宅医療㋲㋲㋲㋲㋲～パラダイムシフトをパラダイムシフトする次世代の在宅医療」。このテーマを最初に聞いた時は、今の皆さん同様「？」がいくつも浮かびましたが、以下の大友大会長の言葉をご覧いただくと、少しだけ頭の中がクリアになるかもしれません。

2025年問題という課題に対応するため、21世紀初頭から日本の医療と介護は病院中心の医療から地域包括ケアシステムへパラダイムシフトしてきました。その2025年を迎え、過ぎ去っていきます。都市部ではこれからますます高齢化が進行し、人材も不足しています。地方では既に高齢化はピークアウトし慢性的な人材不足があり、限界集落も多くなっています。在宅医療の現場にいる私たちはますます出口の見えない岐路に立たされています。

このような岐路に、在宅医療とまちづくり、在宅医療と連携、在宅医療のエビデンス、在宅医療とかかりつけ医、在宅医療とプライマリ・ケア、在宅医療とがん医療、在宅医療と老年医学、在宅医療〇〇〇〇〇、在宅医療△△△△△、在宅医療□□□□□ …… これまでも在宅医療の様々なことが語られてきました。

いま私たち在宅医療に関わるものに求められているのは、在宅医療〇〇〇〇〇を基軸に、パラダイムシフトしてきた地域包括ケアシステムを根本からブラッシュアップすることなのです。〇〇〇〇には新しいモノ・コトが必要です。まずはなんでも発想してみる、楽しく考えると発想が豊かになります。音読する必要があるため、「ラ」を入れると、私は一番楽しくなりました。そんなテーマの学会です。

・・・いかがでしょうか。とりあえず楽しそうな会だな、それだけ伝わってくれたら、この原稿を書いた意義は十分に達成されています。

エッジの効いたプログラムが多数用意されており、体験型、参加型企画も充実しています。学会期間を通して参加者同士の交流を促進するような場を複数準備していますので、全国の在宅医療関係者との親交を深める場としてご活用ください。札幌近隣の在宅医療機関の見学ができるようマッチングも行いたいと考えています。

大会の前日企画としては在宅医療・ケアに関する経営道場が開催される予定です。また、市民公開講座は「開かれた」市民公開講座とすべく、メイン会場に隣接するショッピングモールでまさに「一般市民」を対象としたものを予定しており、日本のトップランナーによる様々な企画をお楽しみいただけると思います。

これまで紹介してきた第８回日本在宅医療連合学会大会、2026年７月４日（土）～５日（日）に札幌コンベンションセンターで開催されます。大会の詳細につきましては、

大会ホームページ（https://www.aeplan.jp/jahcm2026，二次元バーコード（**図３**））をご参照ください。在宅医療に従事している方はもちろん、今後一層ニーズが拡大する在宅医療の現在地と未来に少しでも興味のある方のご参加を、実行委員一同心よりお待ちしております。また、ご協賛いただけます企業様、団体様を募集しています。本大会の意義に、何卒深いご理解とご賛同を賜り、ご支援くださいますよう何卒お願い申し上げます。

図１

図２

図３

「医師資格証」を持ちましょう

診療情報提供書等へのＨＰＫＩ電子署名に対応しています

＜問い合わせ先＞

北海道医師会　事業第一課

TEL 011-231-7661

http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/credential.html

日本医師会電子認証センター

http://www.jmaca.med.or.jp/

『医師資格証』はHPKI（保健医療福祉分野公開鍵基盤）の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです